



中春別小学校  
学校便り

窓

第4号

発行責任者 校長 荒 雅樹  
令和 3年 6月30日 発行

## 新しい形の遠足 ～ お楽しみミニ遠足の実施 ～

運動会を9月12日に延期にすることにしました。子どもたちが楽しみにしている6月の行事が1つ減りました。そこで、5月の職員会議では、子どもの楽しみな行事である遠足を6月中に実施する方法がないか検討しました。当初、小野沼公園への遠足（往路は歩いて。復路はバス利用）の計画を変更し、今年度は、学団ごとに中春別を歩いて楽しむ「お楽しみミニ遠足」を実施することにいたしました。

遠足実施日までに6年生が中心となり、2回ほど学団会議を行い、「学校を出発してヘルスパークまで中春別をめぐるコース」を学団ごとに決め、当日は決めたコースを学団ごとで歩くというものです。また、学校で昼食をとることによって、感染のリスクを減らすことや、延期の日程設定が容易にできるようにしました。

お弁当・おやつを食べたりする楽しみはありませんが、自分たちで遠足のコースを作り楽しむことや学ぶことができます。学校としては、新たな遠足の形を模索しました。

6年生は学団会議に向けて、中春別を実際に歩いて下調べをし、遠足の企画をしました。その時に、活躍したのがタブレット端末です。例えば、下調べで撮影した写真を使って、コースを説明する資料をパワーポイントで作成したり、歩き方の注意を説明する動画を撮影・編集していました。会議の場面でもタブレット端末を使いながら会議を進めている6年生の姿もありました。今まで伝えることが難しかったことを分かりやすく伝えることができました。

当日は、天候に恵まれ、学団のコースで中春別をめぐる遠足を行うことができました。めぐるコースもそれぞれでしたが、遊ぶ場所も、内容も、それぞれでした。ヘルスパーク、神社、リンク、グランド・・・、子どもたちが楽しく活動していました。学団ごとにコースが違いますから、遠足が終わった後には、互いの遠足がどうだったのかを交流する姿や、6年生へ感謝している姿もあったそうです。

「遠足を自分たちで作り楽しむ。」そんな主体的な姿が見られたミニ遠足でした。新たな楽しみ方、新たな学びの発見です。

## 休み時間になると

休み時間になると3年生が花の水やりに走っていく姿があります。3年生は『人権の花』の活動に取り組んでいます。花を育てることを通して、思いやりの心を育むことを目的に行っています。また、その活動は、周りの私たちの心も育ててくれます。校門のところに1列にプランターが並んでいます。ちょっとした「花ロード」になっています。見る私の心も和ませてくれています。

休み時間、以前から外での遊びを大事にしてきました。休み時間になると、遊具や鬼ごっこ、サッカー、虫取りなど、外で過ごす子どもたちの姿がありました。5月の緊急事態宣言のときには、グランドにドッチボールができるコートのひとつを作りました。すると、そこでドッチボールが毎日行われています。元気に外で遊ぶ子どもたちの姿はやっぱりいいですね。

## 基礎の力を高めたい

『がんばり math(マス)』の算数通信にありますように、「基礎計算の力をつけるための取り組み」を始めています。2週間に1度、計算検定（チャレンジタイム）を行います。頑張りタイムで計算問題に取り組み、正しく早く解く力を身に付けるための取り組みです。第1回目は7月1日に行います。来年3月まで計15回取り組んでいきます。子ども自身で目標を決めて、自らが取り組むことを大事にしていきたいと考えています。

早いもので、明日から7月に入ります。7月は、学校として1学期の教育活動や学校運営などを振り返り、自己評価をする時期です。

保護者の皆様にも4月から進めて参りました本校の取り組みについての教育活動アンケートをお願いいたしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(6月30日 校長 荒 雅樹)